

施策番号	111	施策名	地域医療の充実	主管課名	保健福祉課
総合計画 体系	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	令和 2 年度課長名	水島 剛
	関係課名			シート作成者	石原 靖之

1. 施策の対象と意図の指標

① 施策の対象(誰、何が対象か)		③ 対象指標(対象の数・規模)		単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 町民	→	ア	町民人口	人	見込値			12,143	11,970	11,800
						実績値	12,926	12,754	12,625	
イ	→	イ			見込値					
					実績値					
ウ	→	ウ			見込値					
					実績値					
② 施策の意図(対象をどうしたいのか)		④ 成果指標(意図の達成度)		単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 必要な時に適切な医療が安心して受けられる	→	ア	町内の医療機関を利用している町民の割合	%	目標値	80.0	80.5	81.0	79.0	79.5
					実績値	78.4	78.0	80.2		
					達成率	98.0%	96.9%	99.0%	101.5%	100.9%
イ 早く手当、治療をしてもらう	→	イ	地域の医療環境が整っていると感じている町民の割合	%	目標値	68.0	69.0	70.0	66.0	66.5
					実績値	63.9	65.7	70.9		
					達成率	94.0%	95.2%	101.3%	107.4%	106.6%
ウ	→	ウ			目標値					
					実績値					
					達成率					
エ	→	エ			目標値					
					実績値					
					達成率					
⑤ 成果指標設定の考え方	早期発見・治療を行うため、第一次医療機関の町民の利用度と満足度を指標とした。			⑥ 成果指標の把握方法と算定式等	町民アンケート調査					

2. 施策の役割分担

	① 住民の役割 (自助・共助・協働でやるべきこと)	② 行政の役割 (町・都道府県・国がやるべきこと)
施策成果向上に向けた住民と行政との役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ・かかりつけ医を持つ。 ・医療機関への適正なかかり方を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機器の整備及び交通の便を確保し、医療環境の改善を図る。 ・医療施設の医師の確保。(県)病院経営に対して適切な事務指導を行い、財政負担を行う。 ・(国)へき地医療の充実及び制度の安定化を図り、財政負担を行う。

3. 評価結果

1. 施策の成果水準とその背景・要因	
2 年度の 評価結果	① 成果指標の時系列比較 (成果は向上したか? 低下したか? 要因は?)
	町民アンケートによると、年々「町内の医療機関を利用している」と回答した人が、僅かだが増加している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> ほとんど変わらない <input type="checkbox"/> 低下した
2 年度の 評価結果	② 他団体との比較 (近隣市町、県・国の平均と比べて成果水準は高いのか、低いのか、その背景・要因は?)
	・町内の医療機関は病院2(15.57)、診療所8(62.27)、歯科診療所6(46.70)と近隣の町の中ではやや多い状態である。()内は人口10万人あたり施設数 美咲町…病院16.93()、一般診療所4(27.72)、 歯科診療所 5(34.65) 津山市…病院10(9.64)、一般診療所73(70.36)、歯科診療所46(44.34) 久米南町…病院0(0.0)、一般診療所2(40.76)、歯科診療所2(40.76)
	<input type="checkbox"/> 高い水準 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ同水準 <input type="checkbox"/> 低い水準
2 年度の 評価結果	③ 住民の期待水準との比較 (住民の期待よりも高い水準か、低い水準か、どんな意見や要望が寄せられているか?)
	・「地域(町内および隣接地域)で医療環境が整っていると思いますか」のアンケートで「そう思う」の回答が70.9%で、半数以上の住民が満足している。
	<input type="checkbox"/> 高い水準 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ同水準 <input type="checkbox"/> 低い水準
2. 施策の成果実績に対する 2 年度の取組や目標達成度	
■ 2 年度の主な取組の成果(改革改善した取組、目標の達成度は?)	
診療所の設備整備を行った。(奥津診療所 画像診断システム、上齋原診療所 マイクロサーミー) 町内医療機関に新型コロナウイルス感染対策として、マスク、フェイスシールド等を配布した。また、町立病院や診療所にサーマルカメラやスリッパ殺菌機等を整備した。	<input type="checkbox"/> 目標値以上 <input checked="" type="checkbox"/> 目標値どおり <input type="checkbox"/> 目標値以下
3. 施策の今後の課題と改革改善の方向 (うまくいかなかった取組や事務事業は? その原因は?)	
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の医療従事者への感染拡大を防ぐため、医療機関にマスク、フェイスシールド等の医療資材の供給を継続的に行う。 ・2年度は町内に新規の医療機関の開設もなく、診療所においても派遣する病院も、鏡野病院と、岡山市の榊原病医院からの派遣にとどまっております。新規の医療機関がなかった。県からの自治医大医師の派遣や、地域枠の医師の派遣がもらえるよう県に要請していかなくてはならない。 ・在宅医療の普及を推進する上で医療関係者と介護関係者の連携強化。 	